

## 社会保険委員会

委員長：金子 剛

委員：相原 正記、秋元 正宇、井砂 司、井上要二郎、今井龍太郎、  
宇田川晃一、大久保文雄、大城 貴史、大西 清、荻野 浩希、  
垣淵 正男、川嶋 邦裕、木村 得尚、倉片 優、小室 裕造、  
佐武 利彦、佐野 仁美、島田 賢一、関堂 充、土井 秀明、  
鳥山 和宏、難波祐三郎、二ノ宮邦稔、野村 正、村上 正洋、  
村上 隆一

開催年月日：①平成 27 年 4 月 9 日(全体)、②平成 27 年 10 月 8 日(全体)

③その他 適宜 e-mail 委員会

活動の概要：1. 平成 28 年度診療報酬改正要望項目について

①平成 28 年度改訂における新設・改正項目

会員アンケートをもとに委員会で検討して以下の項目とした。理事会の承認を得て外保連を通じて厚労省に要望を行った。

【新設】8 項目

自家脂肪移植術

対側乳房縮小・固定術（反対側乳房再建後）

指皮膚皮下腫瘍摘出術

ICG による赤外線蛍光リンパ管・リンパ節造影

創傷処理（重症顔面軟部組織損傷）

乳房縮小術（性別適合手術におけるもの）

陰茎再建術（尿道再建を伴うもの）

人工乳房抜去術

【改正】5 項目

画像等手術支援加算 2. 実物大臓器実体モデルによるもの：増点  
軟部腫瘍摘出術（頭頸部）：項目の新設

皮膚皮下腫瘍摘出術（露出部，12cm 以上）：項目の新設

創外固定加算：対象手術の拡大

毛巣嚢，毛巣瘻，毛巣洞手術：増点

【医療材料】なし

②厚労省ヒアリング

診療報酬改正要望についての厚労省ヒアリングは2015年8月7日(金)に行われ、小室、荻野、関堂、委員長の4名が参加した。要望の高順位2技術（乳がん術後の対側乳房の縮小・固定術，自家脂肪移植）について説明を行い，質疑応答を行った。その他の技術についても医療技術評価希望書の内容について説明し意見交換を行った。

③平成 28 年度改定項目の一覧

平成 28 年 3 月 4 日中医協資料等による改定項目は以下の通りである。DPC については未発表。

【新設】

K000 創傷処理 3 イ 頭頸部のもの(長径 20 センチメートル以上のものに限る。) 7,170

K006 皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部以外） 4. 長径 12cm 以上  
8,320  
K443 上顎骨形成術 注の新設 1. 単純な場合 上顎骨を複数に  
分割した場合に 5000 点を加算  
D222-2 経皮酸素ガス分圧連続測定（一日につき） 100  
H007-4 リンパ浮腫複合的治療料 1. 重症の場合 200 2. 1  
以外の場合 100  
算定要件，施設基準あり  
G017 腋窩多汗症注射（片側につき） 200

【改正】

J000 創傷処置 2~5 それぞれ 5 点増点  
注 3 6 歳未満の乳幼児加算 50 → 55  
J001 熱傷処置 4~5 について 6 歳未満の乳幼児加算 50 → 55  
J001-7 爪甲処理 45 → 60  
J001 リンパ管腫局所注入 4~5 について 6 歳未満の乳幼児加算  
50 → 55  
J054-2 皮膚レーザー照射療法（一連につき） 3 歳未満の乳幼児  
加算 2,000 → 2,200  
K002 デブリードマン 3. 3,000 平方センチメートル以上 7,600  
→ 8,360  
K011 顔面神経麻痺形成手術 2. 動的なもの 58,500 →  
64,350  
K015 皮弁作成術，移動術，切断術，遷延皮弁術 3. 100 平方セン  
チメートル以上 20,280 → 22,310  
K017-2 遊離皮弁術（顕微鏡下血管柄付きのもの） 2 その他の場合  
84,050 → 92,460  
K019 複合組織移植 15,210 → 17,490  
K020 自家遊離複合組織移植術（顕微鏡下血管柄付きのもの）  
110,700 → 127,310  
K022 組織拡張器による再建手術（一連につき）  
1 乳房（再建手術）の場合 17,580 → 18,460  
2 その他の場合 17,580 → 18,46  
K022-2 象皮病根治手術 2 下腿 19,100 → 21,010  
K031 四肢・軀幹軟部悪性腫瘍  
1. 肩，上腕，前腕，大腿，下腿，軀幹 20,620 → 24,130  
K039 腱移植（人工腱形成術を含む）  
1. 指（手，足） 13,620 → 15,650 2. その他のもの 18,080  
→ 19,280  
K099-2 デュピイトレン拘縮手術  
3. 4 指以上 29,740 → 32,710  
K102 巨指症手術

2. 骨関節, 腱の形成を要するもの 15, 390 → 17, 700
- K105 裂手・裂足 25, 350 → 27, 890
- K106 母指化手術 32, 370 → 35, 610
- K107 指移植手術 95, 630 → 116, 670
- K108 母指対立再建 16, 650 → 19, 150
- K162 頭皮, 頭蓋骨悪性腫瘍手術 31, 270 → 36, 290
- K228 眼窩骨折整復術 26, 520 → 29, 170
- K293 耳介悪性腫瘍手術 16, 390 → 19, 180
- K296 耳介形成手術 1. 耳介軟骨形成を要するもの 14, 570 → 16, 760
- K296 外耳道形成手術 15, 550 → 17, 110
- K334-2 鼻骨変形治癒骨折矯正術 19, 100 → 21, 010
- K296 鼻咽腔閉鎖術 21, 630 → 23, 790
- K407-3 顎・口蓋裂形成手術 口: 両側 29, 040 → 31, 940
- K422 口唇悪性腫瘍手術 28, 120 → 33, 010
- K424 頬悪性腫瘍手術 17, 900 → 20, 940
- K425 口腔, 顎, 顔面悪性腫瘍手術 89, 100 → 108, 700
- K426-3 口唇裂形成術(片側) → 3 鼻腔底形成を伴う 22, 140 → 24, 350
- K426-2 3 口唇裂形成手術(両側) 鼻腔底形成を伴う 33, 290 → 36, 620
- K472-2 頬骨骨折変形治癒骨折矯正 35, 100 → 38, 610
- K429-2 下顎骨折観血的手術 両側 24, 820 → 27, 320
- K431 顎関節脱臼観血的手術 23, 830 → 26, 210
- K434 顔面多発骨折観血的手術 34, 520 → 39, 700
- K434-2 顔面多発骨折変形治癒矯正術 41, 420 → 47, 630
- K443 上顎骨形成術
1. 単純な場合 21, 130 → 23, 240
2. 複雑な場合 41, 370 → 45, 510
- K444 下顎骨形成
2. 短縮又は伸長の場合 22, 310 → 25, 660
3. 再建の場合 36, 080 → 43, 300
- K444-2 下顎骨延長術
1. 片側 22, 310 → 25, 660 2. 両側 33, 460 → 40, 150
- K457 耳下腺腫瘍摘出術 2. 耳下腺深葉摘出術 31, 100 → 34, 210
- K458 耳下腺悪性腫瘍手術
1. 切除 28, 210 → 33, 010 2. 全摘 37, 620 → 44, 020
- K476-3 動脈(皮)弁および筋(皮)弁を用いた乳房再建術 1 一次的におこなうもの 42, 710 → 49, 120
- K819-2 陰茎形成術 33, 790 → 43, 930
- K850 女子外性器悪性腫瘍手術 2. 皮膚移植(筋皮弁使用)を行

った場合 54,020 →63,200

【その他】

J003, J003-2 : 局所陰圧閉鎖処置に変更無し

短期滞在手術等基本料3 : 手術の新たな追加はない

歯科矯正 : リンパ管腫が適応となる

広範囲顎骨支持型装置埋入手術の適応拡大:唇顎口蓋裂等の先天性疾患による顎堤形成不全と明記される

④指定難病、小児慢性特定疾病（小慢）について

2015年に形成外科が関連する疾患のうち以下のものが指定難病あるいは小児慢性特定疾病（小慢）に認定された。28年度改訂において診療報酬としてそれぞれ難病指導管理料あるいは小児科療養指導料（いずれも270点、月1回）が請求できることとなった。これらの対応についてまとめを作成し、学会HPに掲載した。

指定難病：脊髄髄膜瘤，スタージ・ウェーバー症候群，結節性硬化症，クルーズン症候群，アペール症候群，ファイファー症候群，アントレー・ビクスラー症候群，歌舞伎症候群，巨大リンパ管奇形（顎顔面病変），巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変），巨大静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変），22q11.2症候群

小児慢性特定疾病（小慢）：神経皮膚黒色症（先天性巨大色素性母斑に伴うことがある）

2. 外科系学会保険委員会連合（外保連）関連

以下のように委員会に所属して活動を行った。

手術委員会 : 関堂委員，二ノ宮委員

(手術委員会) コーディングワーキンググループ : 相原委員

(手術委員会) 医療材料・医療機器ワーキンググループ : 前川委員

(手術委員会) 医療技術の新しい評価軸検討ワーキンググループ : 関堂委員

処置委員会 : 小室委員，荻野委員

検査委員会 : 二ノ宮委員，荻野委員

実務委員会 : 関堂委員，大城委員

3. 日本医師会疑義解釈委員会・保険適用検討委員会関連

委員長が委員として参加している。

保険適用検討委員会においてデュプイトレン拘縮に対する注射薬であるザイヤフレックスが審議された際に、単なる注射ではなくこれにふさわしい手技料を算定できるようにすべきであると答申を行った。その結果、本剤については、K075 非観血的関節授動術の「3」肩鎖，指（手，足）が算定できることとなった（9月3日付け疑義解釈（その5））。

4. DPC 関連

診療報酬改訂時の見直し案の横断的検討のため以下の様に分担している。

MDC2 眼 : 大久保委員

MDC3 耳鼻科：村上委員

MDC7 筋骨：二ノ宮委員

MDC8 皮膚：相原委員（班員）

MDC9 乳腺：矢野委員

MDC14 先天異常：宇田川委員

MDC16 外傷：秋元委員（班長），委員長（班員），井砂委員（班員）

## 5. 日本小児期外科系関連学会協議会（JPASS）関連

委員長と鈴木啓之先生（社保委員外，千葉県こども病院）の2名が参加している。JPASSとしての診療報酬改定要望に参加した。

小児科学会が中心に計画している「小児疾患患者の臨床情報登録の推進を目指す研究班」への参加についての打診があり，理事長，データベース管理部会委員長と相談の上参加を希望することとした。

## 6. 疑義解釈、診療報酬審査上の問題点への対応

### ①陰圧閉鎖療法（入院）について

医療材料を交換しなかった日が請求できない問題について，厚労省側に問題点を指摘した。日本医師会疑義解釈委員会を通じて疑義解釈により解決したいとの連絡があり，内容について検討した。9月3日付け疑義解釈（その5）が発令された。

### ②トラニラスト（フィブラストスプレー®）の新鮮熱傷に対する適応について

2014年3月に科研製薬に対して新鮮熱傷にも使用できるように添付文書の改訂を要望していたが，11月26日に同社からPMDAより添付文書の改訂が承認されたとの報告があった。これについては日形会誌に挟み込みで会員に周知された。

### ③ザイヤフレックスについて（前述）

## 7. 広報活動

①第58回日本形成外科学会学術集会においては社保委員会の講演等は行わなかった。

②第59回日本形成外科学会学術集会において教育講演を予定している。

日時：平成28年4月13日（水）16:20から17:20

テーマ：平成28年度診療報酬改定および正しいレセプト作成について

司会：大西委員、委員長

演者：宇田川委員、関堂委員

③平成28年度形成外科診療報酬早見表については，ワードファイル，PDFファイルを学会ホームページに掲載する予定。

## 8. その他

①医療ニーズの高い未承認医療機器等の早期導入に関する要望

頭位性斜頭に対する頭蓋形状誘導ヘルメットについては，PMDAより医療機器クラス1に該当するとされた。継続して協議中である。

②委員会での検討事項

以下の項目について委員会で検討した。次年度に継続的に検討を行う。

- (ア) 創傷被覆材が3週までしか請求できない
- (イ) 血管腫硬化療法の保険適用
- (ウ) 陰圧閉鎖療法が4週までしか請求できない
- (エ) 乳房インプラントの先天異常，癒痕への適応拡大
- (オ) 乳房再建後の対側乳房拡大術
- (カ) 乳頭乳輪の tattoo について
- (キ) 医療用ヒル
- (ク) Maggot 治療
- (ケ) 乳児血管腫に対する  $\beta$ -blocker

③医療技術の新しい評価法についての勉強会

平成26年4月9日開催の全体委員会において講師を招き勉強会を行った。

関堂委員：外保連で医療技術の新しい評価軸検討ワーキンググループについて

彦坂 信先生（国立成育医療研究センター）：患者報告アウトカムについて

雑賀美帆先生（岡山大学）：BREAST-Q 日本語版の開発について